



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和3年5月27日 No. 5
園長 安藤賢治

“子育て”は、“親育ち”でもある！

みなさんは、どう受け止められたでしょうか。

5/17（月）の新聞などで公表された記事

【子どもに体罰】です。

厚生労働省による調査対象は、全国 5000 人

（18 歳以下の子の養育者 幼児とは限りませんが…）

【しつけ】として・・・？

わが子の誕生に人生最大の喜びを覚えたあの日。
「幸せに」と願い、自分のことより子どもを優先する毎日は、愛おしくかけがえのないものですね。
それなのに・・・？！

記事には、

- ・体罰は、場合により必要（容認）」41.7%
- 体罰の頻度が比較的高いのは、
- ・しつけに、周囲のプレッシャーを感じる。
- ・子どもの言動にいらいらする。等を「日常的に感じる人」に多いようです。いかがですか。

子育てにおける体罰調査の主な結果

過去6カ月以内にしつけとして子どもに体罰を与えたことがあるか	
日常的にあった	2.3%
時々あった	12.5%
1～2回あった	18.7%
全くなかった	66.5%
子育てにおける体罰が法律的に禁止されていると知っているか	
内容まで知っている	20.3%
聞いたことはあるが詳しい	58.5%
内容は知らない	21.2%
知らない	21.2%
しつけとして行った具体的行為（抜粋、複数回答）	
望ましい行動を積極的に褒めたり認めたりする	85.2%
子どもの意見や思いに耳を傾けたり尊重したりする	84.2%
尻や手の甲をたたくなど物理的罰を与える	28.4%
怒鳴ったり「だめな子」などと否定的言葉を言ったりして心理的に追い詰める	28.1%

岐阜新聞 R3.5.17（水）



PriPri 2021.3 月号より

改正「児童福祉法・児童虐待防止法」では、
・しつけのためでも、体に何らかの苦痛や不快感を引き起こす行為は、どんなに軽いものでも体罰。
・子どもの心を傷つけ、子どもの権利を侵害する言動も体罰に当たる。

○わかっている
・体罰はよくない。
・他にもっと良い方法があるはず。
でも・・・
余裕のない日？ は…。

私には、3人の子がいます。その幼児期の子育てを思い出すと・・・（お恥ずかしいのですが…）
長男に、「これは、ダメ！」を教えたいとき、「まだわからないの？」と限界だった（…と思いついて）
私は、耳を引っ張って……。本当に、あれは……。違う教え方があったはずと反省します。
長女と次女には、甘かった。（…と、言われます） 長男ですが、覚えているものですね。（ああ～、反省）

*

*

*

<チェック> 「～～させたい。わかってほしい。」時・・・

- 親の気持ち、子どもに伝わっていますか？（行為の「意味を、価値を」丁寧に & それなりに）
- 誰かと比べて、焦っていませんか？（特に、兄弟とは ×。同じ年のお友達とも・・・×）
- 本当に子どものためですか？（親の見栄だとしたら・・・NO!）



子は親の鏡



けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる。
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる
親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思うってしまう

励ましてあげれば、子どもは自信をもつようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
褒めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直でいれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
優しく、思いやりをもって育てれば、子どもは、優しい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



子どもが育つ魔法の言葉
ドロシー・ロー・ノルト

